３款　民生費　　１項　社会福祉費

目	予算現額	決算額	執行率
	円	円	%
１．社会福祉総務費	425,171,027	404,841,060	95.2

【福祉課】

［１］社会福祉総務事務費

１．生活保護

社会的・経済的に弱い立場にある被保護者に対し、その自立更生を助けるため、民生委員・児童委員や福祉事務所（愛知県尾張福祉相談センター）のケースワーカーとともに、それぞれの世帯に見合った援助・助言指導を行いました。

（年度末時点）

年　度	被保護世帯数（世帯）	被保護人員（人）
Ｒ５	85	97
Ｒ６	87	103
Ｒ７	92	107

［４］負担金補助及び交付金

福祉サービスの充実を図り、地域福祉の増進のため、社会福祉協議会等に補助金を交付しました。

また、住民税非課税世帯に対し、エアコン購入及び設置に要する費用の一部を補助しました。

１．社会福祉協議会補助事業

扶桑町における社会福祉事業の効率的運営と組織的活動を促進し、地域福祉の増進を図ることを目的として事業を行いました。

（１）　会　員

普通会員　（１口　　500円）　3,523口

賛助会員　（１口　1,000円）　　88口

法人会員　（１口　3,000円）　　105口

（２）役員・理事等

理事　13人　　監事　2人　　評議員　33人

事務局長（常務理事）　1人　　福祉活動専門員　4人（内パート　1人）

地域包括支援センター職員　6人（内パート　1人）

訪問看護ステーション職員　6人（内パート　4人）

総合福祉センター管理人　5人（内パート　5人）

居宅介護支援事業所　4人（内パート　1人）

訪問介護事業所　4人（内パート　3人）

地区サロン指導員　2人（内パート　1人）

生活支援コーディネーター　1人

重層的支援体制整備事業担当　1人

デイサービスセンター　14人（内パート　12人）

※社会福祉協議会独自事業分等を含む職員数を掲載

（３）社会福祉団体に対する助成

団体名	会員数（人）	町補助金（円）
更生保護女性会	21	96,000
遺族会	90	316,000
身体障害者福祉会	41	426,000
心身障害児者父母の会	44	179,200
保護司会	10	153,172
合計		1,170,372

２．地域福祉推進事業

民生委員・児童委員43名及び主任児童委員２名で組織している民生委員・児童委員協議会の定例会を毎月第２金曜日に開催し、小学校、中学校、保育所、愛知県尾張福祉相談センター、愛知県一宮児童相談センター等の関係者と連絡をとり、同協議会・部会活動の強化や自己の資質向上を図るとともに、地域福祉の推進に努めました。

（１）民生委員・児童委員の活動状況　（単位：件）

年度	地域福祉	在宅福祉	家族関係	住居	健康	保健医療	生活費	年金・保険	非行	養護健全育成	生活環境	その他	計
Ｒ５	267	10	4	35	6	3	150	19	85	579			
Ｒ６	239	10	2	14	3	1	294	16	204	783			
Ｒ７	142	6	3	90	4	2	262	29	217	755			

３．生活困窮世帯エアコン購入費補助事業

エアコンを設置していない又は故障により１台も使用できない住民税非課税世帯に対し、購入及び設置に要する費用の一部を補助しました。

補助件数　２件　　補助金額　89,000円

［５］心配ごと相談所運営費

住民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、助言・指導を行いました。

（１）相談所開設場所　　総合福祉センター
（２）相談員　　11人
（３）開設日数　　24日
（４）相談員延出席人員　　24人
（５）取扱件数　　33件
（６）処理状況件数　　33件

（単位：件）

	取扱件数	処理状況				
		解決	再来	民生委員	他機関	その他
生計	2				1	1
家族	1		1			
離婚	2	1			1	
精神衛生	22	6	13		2	1
財産	0					
医療	1				1	
高齢者	0					
苦情	0					
その他	5	5				
計	33	12	14	0	5	2

［６］犯罪被害者等支援事業費

犯罪被害に遭われた家族等に対し、経済的支援として見舞金の支給事業を実施しましたが、実績はありませんでした。

［７］重層的支援体制整備事業費

令和８年度から重層的支援体制整備事業を実施するため、その準備に係る業務を行いました。

［８］民生委員推薦会費

令和７年 11 月 30 日の民生委員・児童委員任期満了に係る民生委員推薦会を４回行いました。

目	予算現額	決算額	執行率
	円	円	%
2．サングリーンハウス等管理費	15,844,000	15,818,620	99.8

【長寿介護課】

［1］サングリーンハウス等管理運営費

高齢者の生きがいを高めるための就業機会の提供、地域住民との交流や健康保持のための相談・指導等を目的として、平成18年度から公益社団法人扶桑町シルバー人材センターを指定管理者に指定し、高齢者生きがい活動推進センターの運営及び扶桑町サングリーンハウスと高齢者作業所の管理運営を行いました。

1．利用状況

年度	活動等内容		実施回数	利用者数
R5	健康相談・指導活動		4	9
	憩い・レクリエーション	娯楽	107	426
		ヘルストロン	157	214
R6	健康相談・指導活動		4	15
	憩い・レクリエーション	娯楽	114	716
		ヘルストロン	49	88
R7	健康相談・指導活動		4	24
	憩い・レクリエーション	娯楽	146	1,180
		ヘルストロン	197	373

2．地域交流活動等

7月9日　　高齢者生きがい活動の推進に関する「運営委員会」開催　6人

3．屋内作業就業状況（サングリーンハウス作業所）

年度	事業件数(件)	就業人員（人）						配分金(円)
		実人員			延人員			
		男	女	計	男	女	計	
R5	35	132	84	216	1,697	1,287	2,984	4,561,994
R6	35	139	99	238	1,706	1,463	3,169	4,907,964
R7	35	137	97	234	1,630	1,296	2,926	4,225,860

4．屋内作業就業状況（高雄作業所）

年度	事業件数(件)	就業人員（人）						配分金(円)
		実人員			延人員			
		男	女	計	男	女	計	
R5	58	66	162	228	755	1,045	1,800	2,351,235
R6	59	65	179	244	683	1,266	1,949	2,668,424
R7	55	63	145	208	605	918	1,523	2,361,497

【財政管財課】

［１］・［２］サングリーンハウス等施設管理費

施設の維持管理のため、次の工事を実施しました。

内装等改修工事、個別空調機取替工事（和室北）

目	予算現額	決算額	執行率
３．障害者福祉費	円 184,796,500	円 179,014,414	% 96.9

【戸籍保険課】

［１］障害者等医療費支給事務費

心身又は精神に障害のある方の福祉増進を図るため、医療費の助成を実施しました。

区分	受給者数（人）	件数	支出額（円）
障害者医療	355	9,987	62,860,827
精神障害者医療	768	16,892	54,049,772

注)受給者数は年間平均人数

受給者一人当たりの公費支給額の年度別推移

区分＼年度	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７
障害者医療	201,189円	202,009円	177,073円
対前年度増減率	23.6%	0.4%	△12.3%
精神障害者医療	66,523円	67,807円	70,377円
対前年度増減率	17.1%	1.9%	3.8%

【福祉課】

［1］障害者福祉一般事務費

愛知県地域自殺対策強化事業費補助金を活用し、自殺対策として臨床心理士による相談を実施しました。

こころの悩み相談

実施回数　18回

相談件数　41件

令和7年7月30日に、行政窓口職員を対象として、「ゲートキーパー研修」を実施しました。

［2］障害者福祉扶助費

身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者の更生意欲を高め、在宅重度障害者の介護者の負担を軽減し、福祉の増進を図ることを目的として扶助料・介護手当を支給し、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付及び自立更生に対し、助言、援助を行いました。

1．身体障害者福祉

（1）扶助料等支給額

	延月数	扶助料	
1・2級	5,031月	20,124,000円	月額4,000円
3・4級	4,713月	16,495,500円	月額3,500円
在宅重度障害者の介護者	24月	120,000円	月額5,000円
合計	9,768月	36,739,500円	

（2）身体障害者手帳所持者数

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
人数	325人	155人	220人	221人	74人	55人	1,050人

2．知的障害者福祉

（1）扶助料支給額

	延月数	扶助料	
A判定（IQ35以下）	645月	2,580,000円	月額4,000円
B判定（IQ36～50）	826月	2,891,000円	月額3,500円
合計	1,471月	5,471,000円	

（2）療育手帳所持者数

	A判定	B判定	C判定	計
18歳未満	20人	19人	54人	93人
18歳以上	67人	67人	68人	202人
合計	87人	86人	122人	295人

３．精神障害者福祉

（１）扶助料支給額

	延月数	扶　助　料	
１級	552 月	2,208,000 円	月額 4,000 円
２級	3,446 月	12,061,000 円	月額 3,500 円
合計	3,998 月	14,269,000 円	

（２）精神障害者保健福祉手帳所持者数

	１級	２級	３級	計
人数	47 人	296 人	80 人	423 人

（３）相談・訪問件数

	総合支援法制度・事業	就労	日常生活	各種制度	医療	苦情	自殺	その他	計
相　談	51 件	4 件	47 件	10 件	9 件	0 件	0 件	87 件	208 件
訪　問	15 件	0 件	13 件	4 件	6 件	0 件	0 件	33 件	71 件

４．難病患者見舞金

支 給 者 数	一人当たりの見舞金額	見舞金支給総額
100 人	12,000 円	1,200,000 円

［３］在宅福祉サービス事業費

重度心身障害者の在宅での福祉を増進させるために、各種のサービスを行いました。

１．配食サービス事業

年度	年間利用者数(人)	年間利用食数(食)	年間利用日数（日）
Ｒ７	1	103	103

２.特殊寝台貸与事業

年度	年間利用者数（人）
Ｒ７	1

３．タクシー料金助成事業

年度	交付者数(人)	年間利用回数（回）
Ｒ５	543	3,703
Ｒ６	726	3,631
Ｒ７	762	3,891

目	予算現額	決算額	執行率
４．老人福祉費	円 1,231,743,000	円 1,206,538,628	% 98.0

【戸籍保険課】

［１］・［２］後期高齢者医療事務費

後期高齢者健康診査

75歳以上の方の健康を守るため、無料で受診できる健康診査を実施しました。

年度	対象者数（人）	受診者数（人）	受診率
Ｒ５	5,785	2,708	46.8%
Ｒ６	5,644	2,914	51.6%
Ｒ７	5,717	2,845	49.8%

注）後期高齢者医療健康診査事業完了報告書の人数

後期高齢者人間ドック

被保険者の健康管理の手助けとして、人間ドックを行いました。

実施期間	１月６日～２月７日	９月２日～10月30日
実施場所	江南厚生病院	伊藤整形・内科
人間ドック受診者数	92	17
脳ドック併用受診者数	25	10

●めざそう値

施策	社会保障			
指標名	指標の定義	後期計画策定時	Ｒ７実績値	Ｒ９目標値
後期高齢者健康診査の実施率	後期高齢者医療の被保険者が受診する割合（%）	50.5	49.8	60.6

［３］後期高齢者福祉医療費支給事務費

後期高齢者医療に加入している方で、心身又は精神に障害のある方などの福祉増進を図るため、医療費の助成を実施しました。

区分	年度	受給者数（人）	件数	支出額（円）
後期高齢者福祉医療	Ｒ５	640	21,914	92,874,127
	Ｒ６	643	22,324	95,744,168
	Ｒ７	646	22,893	94,167,369

注）受給者数は年間平均人数

受給者一人当たりの公費支給額の年度別推移

区分＼年度	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７
後期高齢者福祉医療	145,116 円	148,902 円	145,770 円
対前年度増減率	16.2%	2.6%	△2.1%

［６］高齢者の保健事業と介護予防等の一体的事業費

令和６年度より、後期高齢者医療広域連合会から受託され、後期高齢者に対して保健事業や介護予防事業に取り組みました。

項目	事業内容	対象者
ハイリスクアプローチ	健康状態不明者状況確認	65 名
ポピュレーションアプローチ	老人クラブでの健康教育	11 回 260 名

【長寿介護課】

［1］ 老人福祉一般事務費

1．高齢者見守り１１０番の家

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりを目指し、登録した町内の事業所などに「高齢者見守り 110 番の家」のプレートを掲示していただき、地域における高齢者及び介護者が困った時にすぐに相談できる体制を構築しました。

年　　度	年間届出数	届出数合計（延べ）
Ｒ７	46	46

［2］高齢者生きがい対策推進事業費

1．シルバー人材センター補助事業

働く意欲と能力のある高齢者が、社会の担い手として生きがいをもって活動できるようにするため、公益社団法人扶桑町シルバー人材センターに対し補助金 16,027,000 円を交付しました。

シルバー人材センター年齢別会員数　（単位：人）

年度	年齢／性別	60 歳未満	60 歳～64 歳	65 歳～69 歳	70 歳～74 歳	75 歳～79 歳	80 歳～84 歳	85 歳以上	計
Ｒ５	男	0	5	10	43	50	34	13	155
	女	0	4	10	22	39	27	7	109
	計	0	9	20	65	89	61	20	264
Ｒ６	男	0	8	18	33	49	33	14	155
	女	0	2	10	19	41	27	8	107
	計	0	10	28	52	90	60	22	262
Ｒ７	男	0	10	18	33	52	30	15	158
	女	0	2	12	19	42	22	10	107
	計	0	12	30	52	94	52	25	265

役員・職員の状況

理　事　16 人　　監　事　２人

事務員・指導員等　６人（正規職員４人、臨時職員２人）

２．老人クラブ活動助成事業

高齢者の教養の向上、社会奉仕などの社会活動の充実を図るため、次のとおり補助金を交付しました。

年度	補助金名	補助額
Ｒ５	単位老人クラブ補助金（20 クラブ　会員数 1,235 人）	1,361,680 円
	老人クラブ連合会補助金	697,210 円
Ｒ６	単位老人クラブ補助金（19 クラブ　会員数 1,146 人）	1,290,336 円
	老人クラブ連合会補助金	689,556 円
Ｒ７	単位老人クラブ補助金（17 クラブ　会員数 1,042 人）	1,161,216 円
	老人クラブ連合会補助金	680,612 円

［３］在宅福祉サービス事業費

介護保険制度との連携をはかりながら、介護予防・地域支え合いの観点から高齢者世帯・ひとり暮らしの高齢者等を対象として、各種サービスの提供に努めました。

また、地域包括支援センターを中心に、広く介護保険制度を含めた、保健・福祉・医療の相談援助業務の推進に努めました。

１．寝具洗濯乾燥サービス事業

年　　度	年間利用者数	年間延べ利用回数
Ｒ５	18 人	157 回
Ｒ６	20 人	164 回
Ｒ７	21 人	172 回

２．配食サービス事業

年　　度	年間利用者数	年間延べ利用食数	年間利用日数
Ｒ５	182 人	26,585 食	362 日
Ｒ６	183 人	27,819 食	362 日
Ｒ７	175 人	29,523 食	362 日

３．訪問理容サービス事業

年　　度	年間利用者数	年間延べ利用回数
Ｒ５	16 人	52 回
Ｒ６	9 人	27 回
Ｒ７	8 人	30 回

４．緊急通報システム設置運営事業

ひとり暮らしの高齢者の急病や火災などの緊急時に迅速に対処するため、緊急通報システムを設置しました。

年　　度	設置件数	年度末設置件数
Ｒ５	26 件	133 件
Ｒ６	26 件	134 件
Ｒ７	18 件	125 件

５．理学療法士等派遣事業

高齢者の地区サロン活動の支援のため、理学療法士を派遣しました。

年　　度	派遣地区サロン数	延べ派遣回数
Ｒ５	15 か所	27 回
Ｒ６	8 か所	8 回
Ｒ７	13 か所	21 回

６．在宅介護高齢者軽度生活援助事業

要支援・要介護認定を受けた方へのゴミ出し援助や買い物支援などの、軽度生活援助を実施しました。

年　　度	利用世帯数	延べ利用回数
Ｒ６	11 世帯	81 回
Ｒ７	28 世帯	335 回

7．タクシー料金助成事業

高齢者が日常生活における活動を容易に行うため、80 歳以上の高齢者及び 40 歳～79 歳で介護保険の要介護または要支援の認定を受けている方に対し、タクシー料金（基本料金）を助成しました。また、令和７年度より江南厚生病院、総合犬山中央病院、さくら総合病院への利用に限り、片道につき２枚のチケットが使用できるように助成を拡充しました。

年　　度	交付者数	年間利用回数
Ｒ５	2,974 人	18,961 回
Ｒ６	3,284 人	18,849 回
Ｒ７	3,351 人	22,487 回

８．難聴高齢者補聴器購入費助成事業

聴力機能の低下が見られる高齢者の方に対し、補聴器購入費の一部を助成しました。

年　　度	Ｒ６	Ｒ７
助成人数	17 人	37 人

［4］敬老事業費

永年にわたり社会に尽くされた高齢者を敬愛し長寿を祝福するため、次のとおり各種の事業を実施しました。

1．居宅訪問

長寿を祝い、満100歳の方には町長が訪問により、満88歳の方には振込により、敬老金を贈りました。

年度	実施日	満100歳	満88歳	計
R５	9月15日	9人	244人（振込）	253人
R６	9月13日	8人	185人（振込）	193人
R７	9月12日	6人	208人（振込）	214人

2．金婚表彰

表彰状及び祝い品をご夫婦に贈りました。

年　　度	R5	R6	R7
表彰した夫婦	59組	39組	30組

［5］老人福祉手当支給事業費

要介護３～５のねたきりの高齢者等を在宅で介護している方に、介護手当（月額5,000円）を支給しました。

年　　度	支給実人数	支給延人数
R５	255人	1,743人
R６	269人	1,967人
R７	237人	1,798人

［6］住宅改善事業費

要支援・要介護認定において非該当と判定された方の住宅改善費用の一部を補助しました。

年　　度	年間利用者数	補助額
R５	0人	0円
R６	1人	99,900円
R７	0人	0円

［7］老人保護措置費

老人福祉法第11条の規定に基づく入所措置を行いました。

年　　度	R５	R６	R７
年度末現在対象者数	2人	2人	3人

［8］高齢者虐待防止事業費

高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会を令和７年７月31日に開催しました。

委員数　９人

［13］高齢者保健福祉総合計画推進事業費

介護保険法と老人福祉法に基づく、第10期高齢者保健福祉総合計画（令和９年度～令和11年度）の策定に向け、令和７年度から令和８年度の継続事業のうち、令和７年度は実態調査を行いました。

［14］在宅療養支援事業費

若年がん患者の療養のための利用者はありませんでした。

年　　度	年間利用者数	補助額
Ｒ５	１人	15,750円
Ｒ６	０人	０円
Ｒ７	０人	０円

目	予算現額	決算額	執行率
５．総合福祉センター管理費	円 328,367,000	円 310,803,776	% 94.7

【福祉課】

［１］総合福祉センター管理運営費

１．下記指定管理者による施設管理を行いました。

・指定管理者　社会福祉法人扶桑町社会福祉協議会

・指定期間　令和６年４月１日から令和９年３月31日まで

なお、福祉センター部分の利用状況は次のとおりです。

開館日数	個人	団体	計	内有料入場者数
292日	27,549人	11,317人	38,866人	873人

【財政管財課】

［１］・［２］総合福祉センター施設管理費

施設の維持管理のため、次の工事を実施しました。

電気設備改修工事、ＬＥＤ外灯設置工事、テラス屋根改修工事、自家発電設備改修工事、熱交換器洗浄工事

［51］総合福祉センター施設管理費（臨時）繰越明許費

施設の維持管理のため、次の工事を実施しました。

空調設備等改修工事

目	予算現額	決算額	執行率
6．障害者自立支援費	円 864,496,152	円 831,832,417	% 96.2

【福祉課】

［1］・［2］自立支援費支給事務費

●めざそう値

施策	障害者（児）福祉			
指標名	指標の定義	後期計画策定時	R７実績値	R９目標値
福祉施設入所者の地域生活への移行	障害者施設から地域生活に移行した人数（人）	3	0	5

１．支給決定者数（令和８年３月 31 日時点）（複数のサービスを利用している方による重複があります。）

障害者総合支援法に基づき、自立支援給付及び地域生活支援事業等の支給決定を行いました。

介護給付費		訓練等給付費		地域生活支援費	
居宅介護	55 人	就労継続支援Ａ型	36 人	移動支援	52 人
行動援護	4 人	就労継続支援Ｂ型	98 人	地域活動支援センター	14 人
同行援護	9 人	就労移行支援	10 人	日中一時支援	6 人
短期入所	25 人	自立訓練	2 人		
療養介護	0 人	共同生活援助	64 人		
生活介護	65 人	就労定着支援	11 人		
施設入所	24 人	就労選択支援	2 人		

２．障害児・者相談支援事業

総合福祉センター内にある「基幹相談支援センターふそう」で、障害のある方の地域生活支援を行うため、専門の相談員２名が相談及び支援を行いました。

支援内容	福祉サービス利用等に関する支援	障害や病気の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消･情緒安定に関する支援	保育・療育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援
件数	77	8	95	136	0	91

家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加･余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	合計
24	158	38	3	16	117	763

３．サービス利用状況

（１）介護給付

区　　分	利用人数	利用状況
居　宅　介　護	44 人	6,699 時間
行　動　援　護	2 人	848 時間
同　行　援　護	8 人	1,145 時間
短　期　入　所	12 人	227 日
生　活　介　護	64 人	13,434 日
施　設　入　所	25 人	8,081 日

（２）訓練等給付

区　　分	利用人数	利用状況
就労継続支援Ａ型	39 人	7,235 日
就労継続支援Ｂ型	103 人	18,024 日
就　労　移　行　支　援	21 人	2,402 日
自　立　訓　練	1 人	13 日
共同生活援助	63 人	20,608 日
就　労　定　着　支　援	15 人	116 月

（３）・（４）自立支援医療費・補装具費

（一）自立支援医療費給付状況（単位：件）

更生医療等	レセプト枚数	
	入　院	通　院
一　般　分	0	15
心　臓　分	6	0
腎　臓　分	23	381
合　計	29	396

（二）補装具費給付状況　（単位：人）

補　装　具	交　付	修　理	補　装　具	交　付	修　理
車　椅　子	0	3	姿勢保持装置	4	0
補　聴　器	5	2	歩　行　器	1	0
電動車椅子	1	0	視覚障害者安全つえ	5	0
装　具	3	4	歩行補助つえ	1	0
義　眼	2	0	座位保持椅子	0	0
眼　鏡	4	0	合　計	26	9
人工内耳用音声信号処理装置	0	0			

（５）地域生活支援事業

（一）日常生活用具費給付事業　　（単位：件）

区　　分	件　数	区　　分	件　数
パルスオキシメーター	0	視覚障害者用拡大読書器	2
電気式痰吸引器	2	特殊寝台	0
透析液加温器	2	頭部保護帽	1
移動・移乗支援用具	0	紙おむつ等（延べ月件数）	129
情報・通信支援用具	1	ストマ（延べ月件数）	520
ポータブル電源	1	住宅改修	1
		合　　計	659

（二）その他の地域生活支援事業

区分	利用人数	利用状況
コミュニケーション支援	4 人	51 回
移動支援	34 人	2,775 時間
地域活動支援センター	3 人	80 日
日中一時支援	5 人	65 回

４．令和７年度末の障害福祉管理システムの標準化に向けて改修を行いました。

［３］審査会事務費

扶桑町障害者自立支援審査会を開催し、介護給付費の支給基準等となる障害支援区分の審査判定を行いました。

１．開催回数　　６回

２．判定者数　　68 人

３．判定結果　　（単位：人）

区　分	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６	計
人　数	1	16	19	14	8	10	68

［４］成年後見制度利用支援事業費

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など、判断能力が十分でない人に対して、権利擁護に関する相談や利用支援を行いました。

また、令和７年度は２市２町（小牧市、岩倉市、大口町、扶桑町）が行う尾張北部権利擁護支援センター運営事業に係る幹事市町として、関係する事業を特定非営利活動法人尾張北部権利擁護支援センターに委託して行いました。

尾張北部権利擁護支援センター運営事業　　26,755,000 円

第２期（前期）市民後見人養成事業業務委託　　4,501,587 円

相談実績　　（単位：件）

相談方法	電　話	来　所	訪　問	ケース会議	巡　回	メール等	合　計
件数	161	3	26	9	7	43	249

目	予算現額	決算額	執行率
	円	円	%
７．物価高騰重点支援給付金支給事業費	10,663,806	6,497,685	60.9

【福祉課】

［51］物価高騰重点支援給付金支給事業費（令和６年度国補正予算分）繰越明許費

エネルギー・食料品等の価格高騰による家計への負担を踏まえ、低所得世帯（令和６年度住民税非課税世帯）に対し、１世帯あたり３万円を支給しました。

また、18歳以下の児童のいる世帯に対し、児童１人あたり２万円の加算を行いました。

給付金　　支給世帯 85世帯　支給額 2,550,000円
こども加算 支給人数 16人　　支給額　320,000円

３款　民生費　　２項　児童福祉費

目	予算現額	決算額	執行率
１．児童福祉総務費	円 1,033,244,506	円 1,010,617,989	% 97.8

【子ども課】

［１］・［２］児童福祉総務一般事務費

１．児童扶養手当・愛知県遺児手当・特別児童扶養手当

児童の福祉の増進を図るため、それぞれ一定の要件に該当する児童を監護・養育する父、母、または養育者の手当の認定請求手続き等を認定機関に対して進達し、手当証書等を請求者に交付しました。

手当の種類		受給者数	手当月額
児童扶養手当		148人	全部支給　46,690円
			一部支給　46,680円～11,010円の範囲
愛知県遺児手当		64人	4,350円 (受付開始から３年経過後　2,175円)
特別児童扶養手当	１級	21人	56,800円
	２級	72人	37,870円
	計	93人	

児童扶養手当第２子以降加算：児童１人につき 11,030円～5,520円

※受給者数については、令和８年３月31日現在の人数

２．自転車走行時の安全を確保し、良好な子育て環境整備のために、３人乗り自転車（アシスト車）を３台購入するとともに、３人乗り自転車の貸出事業を実施しました。

貸出台数　　普通車５台、アシスト車20台

［３］こども家庭センター（児童福祉）事業費

１．こども家庭センター（児童福祉）事業

妊娠期から出産、子育て期にわたり、切れ目のない一体的な相談支援を行うとともに、子育て支援の利用等について関係機関と連絡、調整を行いました。

相談・通告の受付件数　　73件（56人）

合同ケース会議の開催回数　　12回

２．要保護児童対策事業

一宮児童相談センター、尾張福祉相談センター、保育園・小中学校など関係機関の実務担当者による要保護児童対策地域協議会実務者会議及び要保護児童対策地域協議会代表者会議を実施し、要保護児童の支援についての協議及び実態把握のための情報交換を行い、児童の健全育成の促進に努めました。

開催回数　代表者会議：１回、実務担当者会議：12回

目	予算現額	決算額	執行率
	円	円	%
2．児童手当費	936,815,600	891,815,322	95.2

【子ども課】

［1］児童手当支給事務費

次代の社会を担う子どもの健やかな成長に資することを目的として、児童手当を支給しました。

		延児童数	金額	費用負担		
				国	県	町
0歳～3歳未満	被用者	7,001人	117,075,000円	1		
	非被用者	566人	10,140,000円	13/15	1/15	1/15
3歳以上中学校修了前	被用者	37,334人	465,600,000円	7/9	1/9	1/9
	非被用者	4,140人	52,580,000円	7/9	1/9	1/9
高校生年代	被用者	10,060人	111,300,000円	7/9	1/9	1/9
	非被用者	1,168人	12,060,000円	7/9	1/9	1/9
合計		60,269人	768,755,000円			

［3］物価高対応子育て応援手当支給事業費

長期化する物価高騰の影響を受けている子育て世帯を支援するため、児童手当支給対象となる児童等を養育する保護者に対し、対象児童一人につき２万円の手当を支給しました。

支給対象児童数　5,601人

支給額　112,020,000円

目	予算現額	決算額	執行率
3．母子福祉費	円 325,867,000	円 294,007,629	% 90.2

【戸籍保険課】

［1］・［2］母子等福祉医療費支給事務費

1．母子・父子家庭の親・子どもの健康保持増進のため、入通院時の医療費の助成を実施しました。

2．未熟児に適正な養育を行うため、未熟児養育医療費の助成を実施しました。

区分		受給者数（人）	件数	支出額（円）
母子・父子家庭医療	県	405	6,604	19,486,654
子ども医療	県	4,604	32,685	94,360,848
	町	3,701	62,813	162,653,352
未熟児養育医療		7	17	2,030,350

注）母子・父子及び子ども医療の受給者数は年間平均人数

受給者一人当たりの公費支給額の年度別推移

区分＼年度		R５	R６	R７
母子・父子家庭医療		48,886円	55,591円	48,115円
	対前年度増減率	19.5%	9.6%	△13.4%
子ども医療		31,442円	31,772円	30,947円
	対前年度増減率	18.4%	1.0%	△2.6%

【子ども課】

［1］遺児手当支給事務費

ひとり親家庭など、遺児を養育している方に遺児手当を支給しました。

町遺児手当（18歳に達した日の属する年度末まで）

支給総額　12,162,000円

受給者数　228人（令和８年３月末現在）

延遺児数　4,054人

月額　3,000円（遺児一人につき）

目	予算現額	決算額	執行率
	円	円	%
4．児童遊園施設費	42,327,200	39,835,459	94.1

【子ども課】

［1］・［2］児童遊園管理運営費

児童の一番身近な遊び場としての児童遊園を適切に維持管理するため、施設の破損箇所や老朽部分の補修、樹木の剪定などを行いました。

また、地域遊園地には、維持管理費補助金を交付する助成を行いました。

なお、青木川拡幅工事に伴い、柏森北児童遊園を廃止しました。

地区名	設置か所数			面積（㎡）
	町立	地域	計	
高雄	17	2	19	13,109.99
山那	4	0	4	2,921.00
小淵	0	1	1	760.00
南山名	7	0	7	3,794.83
斎藤	4	1	5	3,916.29
高木	1	1	2	1,506.00
柏森	9	0	9	4,206.00
合計	42	5	47	30,214.11

（令和７年度末現在児童遊園数）

遊具等修繕

修繕内容	実施児童遊園数（か所）
遊具修繕	3
トイレ・手洗い場修繕	7
ベンチ・パーゴラ修繕	3
フェンス・防球ネット等修繕	2
その他表示看板等修繕	1
合計	（延べ）16

［3］児童遊園整備費

遊具の安全な利用空間の確保を図るための移設やパーゴラの修繕を行い、児童の安全で快適な遊び場を確保しました。

１．工事名　遊具等撤去工事
　工事場所　柏森北児童遊園
　工事費　3,476,000円
　工期　７月31日から９月29日まで

２．工事名　遊具移設等工事
　工事場所　南新田南・薬師堂・南山名寺前・辻田児童遊園
　工事費　2,618,000円
　工期　９月６日から令和８年１月９日まで

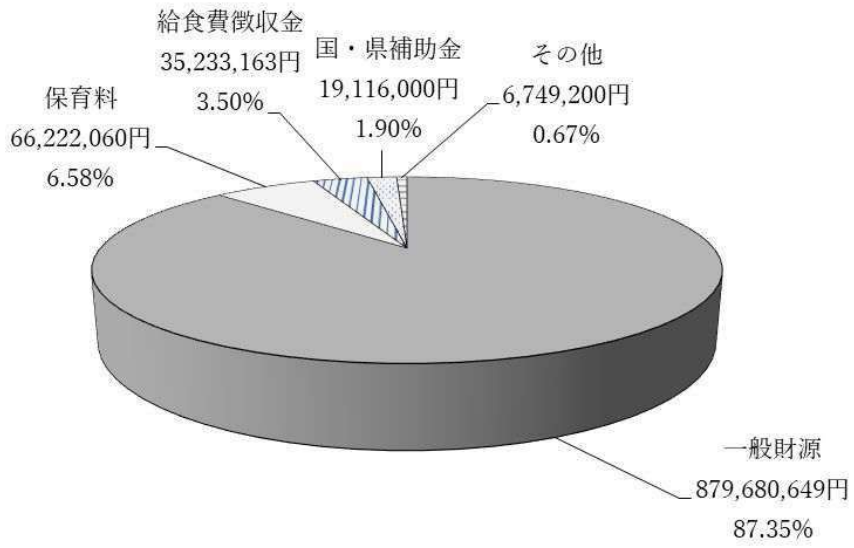
３．工 事 名　　トイレ取替工事
　　工事場所　　南山名北児童遊園
　　工 事 費　　858,000 円
　　工　　期　　12 月５日から令和８年３月４日まで
４．工 事 名　　児童遊園パーゴラ塗装修繕工事
　　工事場所　　北新田・薬師堂・山那・南山名北・辻田・花立・平塚児童遊園
　　工 事 費　　1,452,000 円
　　工　　期　　12 月９日から令和８年３月 18 日まで

目	予算現額	決算額	執行率
	円	円	%
5．保育所費	370,745,174	358,567,512	96.7

【子ども課】

運営費財源内訳

総　額　　1,007,001,072 円



運営費の内訳

・支出総額	1,007,001,072 円
・在籍延人数	9,034 人
・運営費一人当たりの月額	111,468 円
内訳　一般財源	97,367 円
保育料	7,335 円
国・県補助金	2,118 円
給食費徴収金	3,901 円
その他	747 円

［3］・［4］保育所管理運営費

１．保育所定員と児童数及び保育士数　　（令和７年度末現在）

保育園名	定員（人）	５歳児（人）	４歳児（人）	３歳児（人）	２歳児（人）	１歳児（人）	０歳児（人）	合計（人）	入所率（%）	保育士数（人）
高雄保育園	140	28	28	31				87	62.14%	19(13)
高雄西保育園	150	27	27	30	27	15	8	134	89.33%	30(20)
高雄南保育園	140	36	30	36	17	15		134	95.71%	23(14)
山名保育園	140	23	17	26	14	15	6	101	72.14%	23(14)
斎藤保育園	90	18	17	15	17	12		79	87.78%	22(15)
柏森保育園	140	26	34	27	18	15		120	85.71%	22(13)
柏森南保育園	90	17	18	23	15	14	6	93	103.33%	23(16)
合　計	890	175	171	188	108	86	20	748	84.04%	162(105)

（　）内は、会計年度任用職員（保育士）・派遣保育士を再掲

○児童数等推移

年　度	定　員（A）	児童数（B）	入所率（B／A）	保育士数
Ｒ５	890 人	735 人	82.58%	141 人（84 人）
Ｒ６	890 人	721 人	81.01%	152 人（95 人）
Ｒ７	890 人	748 人	84.04%	162 人（105 人）

２．保育環境の整備に必要な備品を購入しました。

備品購入費　　2,244,000 円

コンベクションオーブン　高雄西保育園

食器洗浄機　山名保育園

［５］地域子育て支援センター事業費

子どもが健やかに生まれ育つための環境づくりと地域における子育て家庭を支援することを目的に、高雄保育園及び扶桑町児童センターにて地域子育て支援センター事業を推進しました。

	保育士	利用者数（延べ人数）		合計
にこにこらんど（高雄保育園内）	2人	子ども　5,956人	保護者　5,016人	10,972人
すくすくらんど（扶桑町児童センター内）	2人	子ども　8,320人	保護者　7,240人	15,560人

主な事業内容は、次のとおりです。

○子育て支援　　電話や面接により子育てに対する不安等について相談、指導等を実施しました。

○子育てひろば　　月１回、集団遊びを実施しました。

○子育てサロン　　利用を制限しながら、親子でゆっくり安心してくつろげる遊び場として「すくすくサロン」「にこにこサロン」を開設し、育児の相談窓口を設けました。

○子育て育児講座　　外部講師による育児講座を実施しました。

○情報誌の発行　　育児に関する身近な情報をお知らせしました。

○園庭開放　　保育園を地域の未就園児の親子に開放し、保育資源の活用に努めました。

［６］ファミリーサポート事業費

ファミリーサポート事業は、育児の援助を行いたい方と育児の援助を受けたい方からなる会員組織で、事業の趣旨に賛同する方と援助を必要とする方の地域における相互援助活動として入会会員の受付、紹介を実施しました。

事業実施延件数　381 件

ファミリーサポートセンター報酬助成金　42,300円

［７］一時保育事業費

保護者等の就労、病気、育児疲れ等により断続的又は緊急、一時的に家庭保育が困難となる児童を保護者に代わって保育園で保育し、子育てを支援しました。

実施場所　　高雄保育園・斎藤保育園（保育士　各園２人）

区分	就労	傷病	出産	育児疲れ	その他	合計	一日当たり
人数	838人	144人	41人	1,935人	231人	3,189人	13.2人

［８］広域入所事業費

就労等の事情により、扶桑町以外の保育所への入所希望に対応するため、広域入所事業を実施しました。

事業実施件数　　１件

［９］・［12］子ども・子育て支援事業費

子ども・子育て新制度の実施に伴い、対象幼稚園等に対して財政支援を行いました。また新制度における一時預かり事業を実施した幼稚園等に対しても委託費を支給しました。

施設型給付　　５園　延べ　299 人
地域型保育給付　２園　延べ　143 人
子育てのための施設等利用給付
　　６園　　11 人
子育てのための施設等利用給付（新制度未移行幼稚園分）
　　１１園　　355 人
一時預かり事業　３園　　254 人

○病児病後児保育事業

病気中、病気の回復期である児童を一時的に預かる病児病後児保育を大口町と連携して行い、保護者の子育てと就労を支援しました。

実施場所　　つくしこどもクリニック
延利用人数　　77 人

○子ども・子育て支援事業補足給付事業

扶桑町子ども・子育て支援事業補足給付事業費補助金交付要綱に基づき、町内在住で私立幼稚園に在園する満３歳児・３歳児・４歳児及び５歳児の補助要件に該当する保護者に対し、副食費（月額 4,900 円を上限）を助成し、負担軽減に努めました。

33 人の申請があり、27 人に補助しました。

○扶桑幼稚園助成

私立幼稚園助成条例に基づき、幼稚園の健全な運営を促すため設置者に対し助成しました。

［11］乳児等通園支援事業費（こども誰でも通園制度）

令和７年８月から、令和８年度からの本格実施を見据えた「乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）」を斎藤保育園で行いました。

【財政管財課】

［１］保育所施設管理費

設備の保守点検を行い、施設の維持管理に努めました。

［２］保育所施設整備費

施設の維持管理のため、次の工事を実施しました。

高雄西保育園　　トイレ改修工事、空調設備改修工事
斎藤保育園　　屋上防水・外壁等改修工事・温水配管修繕工事

目	予算現額	決算額	執行率
６．放課後児童健全育成事業費	円 37,017,706	円 35,576,237	% 96.1

【子ども課】

［1］・［2］放課後児童クラブ事業費

１．各放課後児童クラブ館では、保護者が安心して就労できるよう小学校１年生から６年生までの留守家庭児童を保育し、子育てを支援しました。また、柏森放課後児童クラブ館において土曜日の保育を行いました。

児童クラブ名	開設場所	平均在籍児童数	開設時間
高雄放課後児童クラブ	高雄放課後児童クラブ館	164 人	月曜日から金曜日までの下校時から午後 7 時まで(ただし、長期休暇（春夏冬休み）中は月曜日から土曜日で午前 7 時 30 分から開設)
扶桑東放課後児童クラブ	扶桑東放課後児童クラブ館	155 人	
山名放課後児童クラブ	山名放課後児童クラブ館	95 人	
柏森放課後児童クラブ	柏森放課後児童クラブ館	286 人	

※平均在籍児童数については、各月１日現在の在籍数の平均

２．各放課後児童クラブ館にて児童が使用するタブレット端末の利用ができるように Wi-Fi 設備の拡張工事を行いました。

●めざそう値

施策	子育て支援			
指標名	指標の定義	後期計画策定時	Ｒ７実績値	Ｒ９目標値
放課後児童クラブの満足度	放課後児童クラブ利用に「満足している」「まあまあ満足している」と回答した人の割合(%)	―	88.4	90.0

【財政管財課】

［1］・［2］放課後児童クラブ施設管理費

施設の維持管理のため、次の工事を実施しました。

高雄放課後児童クラブ館　　床改修工事、下水道接続工事
扶桑東放課後児童クラブ館　　トイレ窓面格子設置工事
山名放課後児童クラブ館　　床改修工事
柏森放課後児童クラブ館　　床改修工事、個別空調機設置工事

目	予算現額	決算額	執行率
7．児童発達支援費	円 299,635,520	円 296,411,527	% 99.0

【福祉課】

［1］・［2］児童発達支援事業所運営費

［3］児童発達支援支給事務費

児童福祉法に基づき、児童発達支援事業所つくし学園を運営するとともに、障害児通所給付費の支給決定を行いました。また、保育所等の子どもやその親が集まる施設・場に巡回相談支援を実施し、障害が「気になる」段階から支援を行うための体制整備を行いました。

1．つくし学園利用状況

利用人数	利用日数
42 人	1,121 日

2．障害児通所給付費

障害児通所給付	利用人数	利用日数
児童発達支援 （つくし学園を除く）	80 人	6,308 日
放課後等デイサービス	166 人	16,509 日
保育所等訪問	1 人	1 日

3．巡回相談支援

実施場所	回数
つくし学園・保育園・幼稚園	23 回
小学校・中学校	21 回
放課後児童クラブ・放課後子ども広場	6 回
保護者支援	20 回
合計	70 回

発達が気になる保護者のための講演会を令和７年６月７日(土)、令和８年２月 20 日(金)に開催しました。

【財政管財課】

［1］児童発達支援事業所施設管理費

設備の保守点検を行い、施設の維持管理に努めました。

目	予　算　現　額	決　算　額	執　行　率
８．児童センター管理運営費	円 31,754,400	円 30,058,393	% 94.7

【子ども課】

［１］・［２］児童センター管理運営費

１．０歳から18歳までのすべての子どもの児童健全育成及び子育て支援の拠点施設として、地域や関係機関などと連携を図り、子どもたちが安心して遊べる居場所となり、世代を超えた交流や遊びを通して、子どもたちの情操を豊かにし自主性や創造性を育むことを目的として、ＮＰＯ法人ママ・ちょこに委託し扶桑町児童センターの管理運営を行いました。

年　度	開館日数	利用者数
Ｒ６	295日	36,153人
Ｒ７	295日	36,052人

２．児童センターに隣接する町立扶桑中学校からの飛来物を防ぐため防球ネットフェンスを設置する工事を行いました。

工事費　3,190,000円

【財政管財課】

［１］・［２］児童センター施設管理費

施設の維持管理のため、次の工事を実施しました。

プレイルーム建具改修工事、主幹ブレーカー取替工事

３款　民生費　　３項　国民年金費

目	予算現額	決算額	執行率
	円	円	%
１．国民年金費	6,552,000	6,440,413	98.3

【戸籍保険課】

［１］国民年金施行事務費

１．拠出年金

（１）国民年金加入状況

令和７年度末の被保険者数は、前年度と比べると 253 人減少の 5,326 人となり、このうち第１号被保険者は前年度に比べ 107 人減少しました。任意加入被保険者数は５人増加し、第３号被保険者については、151 人減少しました。

被保険者数の推移　（人）

区分／年度	被保険者数			
	第１号被保険者数	任意加入被保険者数	第３号被保険者数	合計
Ｒ５	3,050	45	2,666	5,761
Ｒ６	3,051	41	2,487	5,579
Ｒ７	2,944	46	2,336	5,326

（２）国民年金被保険者届出状況　（人）

種類	第１号被保険者	任意加入被保険者	第３号被保険者
資格取得	1,183	22	207
取得取消	20	0	2
転入	118	0	53
転出	148	0	68
資格喪失	1,249	17	349
喪失取消	9	0	8
合計	2,727	39	687

（３）国民年金保険料納付状況

（一）保険料の納付状況

納付対象月数	納付月数	納付率
22,562	19,228	85.2

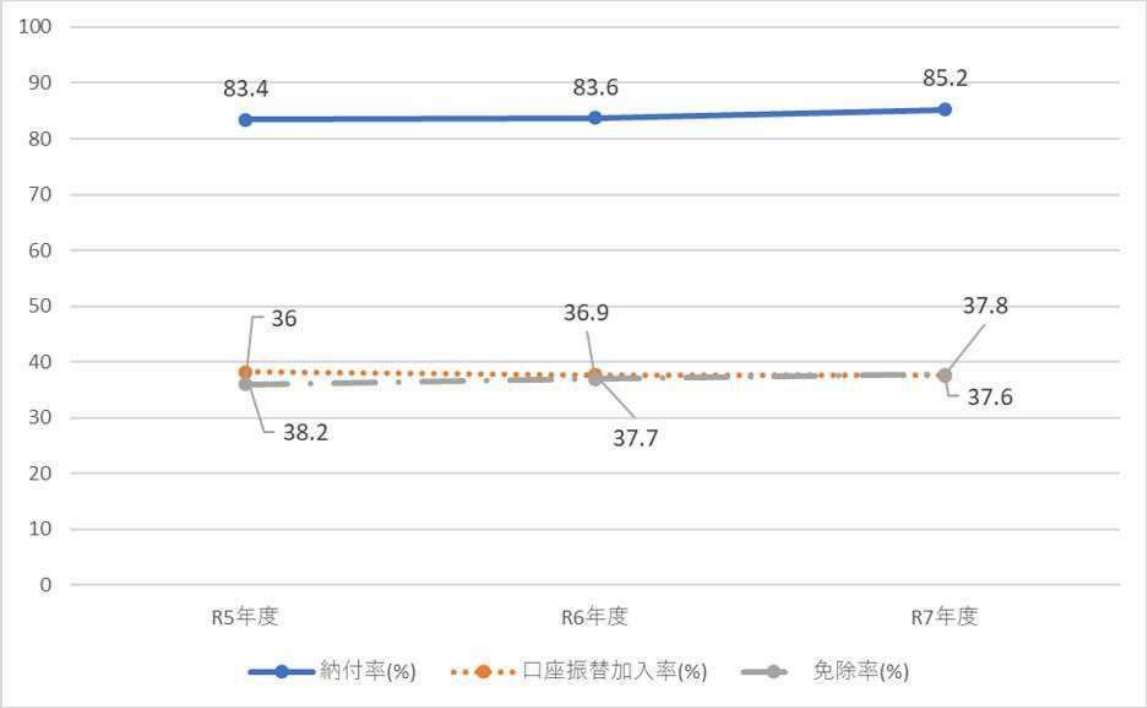
（二）保険料の免除被保険者数

法　定　免　除	申　請　免　除	合　　計	免　除　率
238	874	1,112	37.8%

（三）保険料の口座振替加入状況

対　象　者　数	加　入　者　数	加　入　率
1,926	724	37.6%

（四）国民年金保険料の納付状況と口座振替加入率の推移



２．年金相談

年金に関する各種相談を、一宮年金事務所の相談員により１年間に４回実施しました。（件）

月／年度	４・５月	７・８月	10・11月	１・２月	計
Ｒ５	7	8	8	8	31
Ｒ６	6	8	8	7	29
Ｒ７	7	7	7	8	29

３款　民生費　　４項　災害救助費

目	予算現額	決算額	執行率
	円	円	%
１．災害救助費	1,626,000	59,316	3.6

【福祉課】

［１］災害救助費

１．避難行動要支援者マニュアルに基づき、48名（令和８年３月末現在）を避難行動要支援者名簿へ登録しました。

２．突風及び火災による損壊に伴う災害見舞金の支給事業を実施しましたが、実績はありませんでした。

４款　衛生費　　１項　保健衛生費

目	予算現額	決算額	執行率
	円	円	%
１．保健衛生総務費	228,666,000	225,604,424	98.7

【健康推進課】

［１］・［２］保健センター管理運営費

１．定期的に施設・設備の保守点検と清掃等を行い、衛生管理・美観維持に努めました。

国の動向に合わせて保健指導システムの改修を行うとともに、的確な保健指導を行い、利用者の利便性向上を図りました。

また、歯科地域保健事業推進費補助金や、保健医療従事者を育成するための尾北看護専門学校運営費補助金を交付するなど、地域保健医療の充実を図りました。

２．施設の維持管理のため、次の工事を実施しました。

男子トイレ小便フラッシュバルブ取替工事、カーテンレール及びカーテン取替修繕工事

３．保健事業の面接等で使用する机の老朽化に伴い、11台を廃棄し、新たに折りたたみテーブルを購入しました。

［３］救急医療事業費

１．在宅当番医制休日診療の実施

救急医療対策として、一般社団法人尾北医師会、一般社団法人犬山扶桑歯科医師会の協力を得て、日曜・祝日・年末年始の在宅当番医制による休日診療を実施しました。不慮の事故や急病の際にも迅速に治療が受けられる体制を整える等、救急医療の充実に努めました。

（１）医科　実施日数：40日（年73日中、扶桑町内医師実施分）
　　診療時間：9:00～12:00、14:00～17:00

（２）歯科　実施日数：25日（年72日中、扶桑町内歯科医師実施分）
　　診療時間：9:30～11:30
　　（GW・お盆期間中は9:30～12:00、年末年始は9:00～12:00）

２．第二次救急医療

三市二町救急医療対策運営協議会において、江南厚生病院・総合犬山中央病院・さくら総合病院の３病院を第二次救急医療機関に指定しています。

第二次救急医療機関は、常時診療応需の体制を整え、緊急入院に必要な病床を確保し、深夜の救急患者の受け入れや、第一次医療機関で適切な処置ができない重篤患者に対する高度治療を行うことで、住民が安心して暮らせるよう救急医療の充実に努めました。

［４］食品衛生事業費

食中毒等の事故発生防止を目的に、食品衛生業に従事する方を対象とした啓発指導等を実施する愛知県食品衛生協会江南支部に対し、助成金を交付しました。

助成金額　39,000円

［５］骨髄提供促進事業費

骨髄提供者等の負担を軽減し、骨髄移植の推進を図ることを目的に、骨髄又は末梢血幹細胞の提供者及び当該提供者が勤務する事業所に対し、助成金を交付しました。

助成件数　１件

助成金額　140,000 円

【下水道課】

［１］丹羽広域事務組合水道部負担金

丹羽広域事務組合水道部職員に対する児童手当に要する費用を負担しました。また、エネルギー・食品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者等への支援を目的として、令和７年４月から令和７年７月までの当初調定請求分水道基本料金の免除を丹羽広域事務組合水道部にて実施し、その費用を負担しました。

水道基本料金免除に要する費用　47,800,786 円

児童手当に要する費用　3,055,375 円

【財政管財課】

［１］保健センター施設管理費

設備の保守点検を行い、施設の維持管理に努めました。

目	予算現額	決算額	執行率
	円	円	%
2．予防費	233,885,000	218,164,968	93.3

【健康推進課】

［1］・［2］市町村母子保健事業費

［3］こども家庭センター（母子保健）事業費

1．乳幼児健康診査

乳幼児の疾病の早期発見と成長・発達の確認の機会として、乳幼児健康診査を定期的に実施しました。また、必要に応じて保健指導を行うとともに専門医療機関での受診を促し、乳幼児の健全な発育の促進に努めました。

種別	4か月児健診	1歳6か月児健診	3歳児健診
健診内容	問診･身体計測･診察･授乳相談・家族計画相談･保健指導	問診･身体計測･診察･歯科健診･フッ化物塗布・保健指導・栄養相談	問診･身体計測･診察・歯科健診･フッ化物塗布・栄養相談･視力と聞こえの確認･スポットビジョン・育児相談・保健指導
実施回数（回）	12	10	12
対象者数（人）	225	214	265
受診者数（人） （率）	220 (97.8%)	211 (98.6%)	265 (100.0%)

2．歯科健康診査

（1）2歳児・2歳6か月児歯科健康診査

歯科健診・フッ化物塗布・歯みがき指導等を行うことで、虫歯予防や口腔衛生の普及啓発に努めるとともに、発達の確認や育児相談等の育児支援を行いました。(各6回)

受診者数　2歳児　191人

2歳6か月児　222人

（2）妊産婦歯科健康診査

妊婦・産婦（産後1年以内の方）を対象に、町内医療機関に委託し個別歯科健診を行いました。

受診者数　88人

３．健康教育（こども家庭センターの母子保健コーディネーター分を含む）

妊娠・出産・育児・予防接種に関する正しい知識の普及啓発を目的として、各種教室を開催し、母親の不安解消や安心して出産・育児ができる環境を整えるとともに、乳幼児が心身ともに健やかに成長できる環境づくりに努めました。

名　　称	内　　容	実施回数(回)	参加者数(人)
ぱぱままクラス	妊娠中の栄養、分娩の経過、妊婦体操、授乳について、育児用品の紹介、沐浴指導と実習等	12	135
赤ちゃん教室初期	予防接種予診票の交付、予防接種の啓発と進め方、赤ちゃんとの遊びについて、育児相談	12	157
赤ちゃん教室前期	育児について、赤ちゃんに多い病気と手当の仕方、赤ちゃんの事故予防、離乳食のすすめ方、試食	6	67 (内､託児 40)
赤ちゃん教室後期	赤ちゃんの歯の手入れ、赤ちゃんとの遊び、カミカミ期の食事メニュー紹介・試食	6	親 55 子 51
ひまわりっ子	１歳６か月児健診及び２歳児歯科健診事後フォロー教室	12	142 (71 組)
幼　児　教　室	２歳６か月以降で発達に心配のある児を対象とした、親子あそび、母親グループワーク、育児相談	18	160 (79 組)
予防接種説明会	転入者を対象にした予防接種の啓発と予診票の交付、予防接種の受け方の説明	12	34
健　康　教　室	住民団体等からの依頼による健康教育（子どもの健康管理と事故防止、食育について）	2	18

４．母子健康相談

乳幼児の成長や健康状態を確認するため、体重・身長の計測等を行う乳幼児相談を実施しました。また、乳幼児の不慮の事故や疾病に対し迅速に助言を行うため、電話相談を随時受け付け、育児支援に努めました。なお、心理育児相談の質の維持・向上を図るため、知能検査用具の改版に合わせて用具一式の更新を行いました。

備品購入費　　132,000 円

名　　称	内　　容	実施回数(回)	利用者数(人)
乳　幼　児　相　談	身体計測･育児相談･栄養相談･授乳相談	24	1,028
3 歳 児 健 康 相 談	視覚聴覚の確認･育児相談	随時	18
ほ っ と で ん わ	電話による健康相談	随時	68
面 接 健 康 相 談	面接による健康相談	随時	115
心 理 育 児 相 談	心理発達・育児相談	24	59
支援センター育児相談	育児相談	12	34
赤ちゃん教室初期面談	育児相談	12	173
ひまわり交付時面談	予防接種説明・育児相談	随時	32

５．妊産婦乳児（医療機関）健康診査

妊産婦及び新生児聴覚検査、１歳１か月未満の乳児の健康診査を実施し、健康維持・増進及び異常の早期発見・治療の促進に努めました。

対象	回　数	内　容	受診者数	県外受診 扶助申請者数
妊婦	子宮頸がん	子宮頸がん検診	204 人	8 人
	1 回目	基本健診（検尿・体重測定･血圧測定・診察）、血液検査、超音波検査	209 人	9 人
	2 回目	基本健診	205 人	12 人
	3 回目	基本健診	214 人	11 人
	4 回目	基本健診、超音波検査	209 人	11 人
	5 回目	基本健診	202 人	12 人
	6 回目	基本健診	194 人	10 人
	7 回目	基本健診	199 人	10 人
	8 回目	基本健診、超音波検査、血液検査	203 人	10 人
	9 回目	基本健診	184 人	17 人
	10 回目	基本健診、ＧＢＳ	175 人	22 人
	11 回目	基本健診	154 人	19 人
	12 回目	基本健診、超音波検査、貧血検査	171 人	21 人
	13 回目	基本健診	117 人	19 人
	14 回目	基本健診	67 人	14 人
	多　胎	基本健診	2 人	0 人
産婦	1 回目	産婦健康診査	190 人	20 人
	2 回目	産婦健康診査	182 人	19 人
乳児	1 回目	身体計測、診察	173 人	20 人
	2 回目	身体計測、診察	173 人	0 人
	新生児聴覚	聴覚検査（ＡＢＲ-ＯＡＥ）	174 人	20 人

６．家庭訪問（母子）

心身の状況に応じ、健康の保持増進のための保健指導が必要な方（69 人）に、家庭訪問を実施しました。

訪問回数（延べ）　97 回

７．一般不妊治療費助成事業

不妊に悩む夫婦に対し、不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的な負担を軽減し、少子化対策に努めました。

助成件数　33 件

８．低所得の妊婦に対する初回産科受診費用助成事業

母体や胎児の健康保持・増進を図り、必要な支援につなげることを目的とし、低所得世帯に属する方が、妊娠判定のために受ける初回産科受診費用に対し、一部助成する事業を実施しました。

助成件数　１件

９．こども家庭センター（母子保健）事業

母子保健コーディネーターを配置し、妊娠・出産から子育て期にわたり、妊産婦や乳幼児の状況を継続的に把握することで、切れ目のない相談支援体制を構築しました。これにより、育児不安の解消や児童虐待の防止に努めました。なお、ミニママクラス及び面接相談における母子健康手帳交付数は 233 冊でした。

（１）　健康教育・健康相談事業

名　　称	内　　容	実施回数(回)	利用者数(人)
妊娠を希望する女性のための健康相談	妊娠を希望する女性に家族計画相談、妊娠するための健康相談、不妊治療・不妊治療費助成に関する相談	随時	0
母子健康手帳交付とミニママクラス	母子健康手帳交付、出産に向けての準備・母子保健事業の紹介、妊婦相談、妊婦面接を実施し妊婦支援計画の作成、「妊婦のための支援給付」申請	36	134
妊娠 32 週コール	妊娠 32 週以降の妊婦に対する電話相談	随時	205
バースデイコール	産後１か月頃までの産婦に対する電話相談	随時	217
電　話　相　談	電話による妊産婦・育児相談	随時	79
面　接　相　談	母子健康手帳交付、面接による妊産婦・育児相談	随時	117

（２）こんにちは赤ちゃん訪問・新生児訪問指導事業

新生児期から４か月児健診までに、保健師や助産師が各家庭を２回訪問し、母の健康状態確認や乳児の身体計測等を行い、きめ細やかな育児・保健指導に努めました。

訪問指導乳児数	延訪問回数	うち里帰り出産訪問件数
220 人	429 回	4 件

（３）産後ケア事業

産後の体調不良や育児不安があり、家族等から十分な支援が受けられない方に対し、医療機関等で宿泊やデイサービス等を利用し、休養や育児支援サービスを受けられる産後ケア事業を実施しました。

利用件数　宿泊型　　21 件
　　デイサービス型　５件
　　訪問型　　０件

（４）妊婦のための支援給付事業

全ての妊産婦・子育て世帯が安心して出産・育児に取り組める環境を整備するため、伴走型相談支援（妊婦等包括相談支援事業）と経済的支援（妊婦のための支援給付事業）を一体的に実施しました。なお、給付金は今年度から流産・死産、人工妊娠中絶の方も対象となりました。

事業名		対象者	内容	給付件数（件）
出産・子育て応援金	出産応援金	妊娠届出時又はそれ以降に面談をした妊婦	妊婦１人あたり 50,000 円給付	
	子育て応援金	出生届を提出後、面談をした養育者	子ども１人あたり 50,000 円給付	26 （内、多胎児０件）
妊婦のための支援給付		申請時又はそれ以降に面談し、妊婦給付認定を受けた妊婦	妊婦１人あたり 50,000 円給付	231
		妊婦給付認定を受けた後、妊娠している子どもの人数を届け出た妊婦 ※多胎児・流産・死産・人工妊娠中絶を含む。	妊娠している子どもの数 ×50,000 円給付	196 （内、多胎児３件）

＊妊婦のための支援給付件数には、流産３件、人工妊娠中絶７件を含む。

［４］予防接種事業費

１．定期予防接種（A類疾病）事業

予防接種法に基づき、各種定期予防接種を行い、疾病の発症・流行の予防に努めました。

特例措置については、麻しん・風しん混合ワクチンにおいて、ワクチン不足により接種機会を逃した令和６年度接種対象者の接種期限を、令和９年３月 31 日まで延長しています。また、日本脳炎予防接種については、過去の積極的勧奨の差し控え勧告により、接種機会を逃した方（平成７年４月２日から平成 19 年４月１日生まれの方）に対して、20 歳に達するまで接種が可能な措置をとっています。

子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ接種については、平成９年４月２日から平成 20 年４月１日生まれの方を対象に実施し、さらにワクチン不足により接種機会を逃した方については、接種期限を令和８年３月 31 日まで延長する措置をとりました。

予防接種名		対象者	延べ接種者数（人）
Ｂ　Ｃ　Ｇ		生後１歳未満児	220
ロタウイルス	１価	出生６週０日後～24 週０日後	164
	５価	出生６週０日後～24 週０日後	399
ヒ　ブ		生後２か月～60 か月未満児	8
小児用肺炎球菌		生後２か月～60 か月未満児	890
Ｂ型肝炎		生後２か月～12 か月未満児	660
五種混合		生後３か月～90 か月未満児	861
四種混合		生後３か月～90 か月未満児	56
三種混合		生後３か月～90 か月未満児	6
不活化ポリオ		生後３か月～90 か月未満児	6
麻しん風しん１期		生後 12 か月～24 か月未満児（注１）	223
麻しん風しん２期		小学校就学前１年間（注１）	280
水痘		生後 12 か月～36 か月未満児	432
日本脳炎		生後６か月～未就学児	815
		小学生以上（注 1）	309
二種混合		小学６年生	291
ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん予防）		小学６年生～高校１年生の女子（注１）	470

（注 1）特例接種対象者含む

２．定期予防接種（Ｂ類疾病）事業

予防接種法に基づき、各種定期予防接種を行い、疾病の発症・重症化・まん延の防止に努めました。

予防接種名	対象者 ※60 歳～64 歳の厚生労働省令で定める方を含む。	対象者数（人）	接種者数（人） ※帯状疱疹は接種回数	接種率（%）
インフルエンザ	満 65 歳以上の方	9,164	5,759	62.8
高齢者の肺炎球菌感染症	満65歳で過去に接種をしたことがない方	369	140	37.9
新型コロナウイルス感染症	満 65 歳以上の方	9,197	1,576	17.1
帯状疱疹 （令和７年度から定期接種）	令和７年度に満 65・70・75・80・85・90・95 歳及び 100 歳以上の方	1,894	・組換え（不活化）ワクチン　973 回 ・生ワクチン　89 回	― （注２）

（注２）２種類のワクチンで接種回数が異なり、接種率は算出不可能なため記載していません

３．高齢者肺炎球菌感染症ワクチン接種費用助成事業（任意接種）

75歳以上の方（66歳～74歳の厚生労働省令で定める方を含む。）のうち、定期予防接種の対象外の方に対し、肺炎球菌による肺炎の罹患及び重症化防止のため、肺炎球菌感染症ワクチンの接種費用を助成しました。

助成人数　生活保護又は町民税非課税世帯に属する方（全額助成）　１人
　　その他の世帯に属する方（半額助成）　３人

４．風しんワクチン接種費用助成事業（任意接種）

風しんの流行及び先天性風しん症候群の発生を抑えるため、妊娠を予定又は希望している女性及びその夫に対し、風しんワクチンの接種費用を助成しました。助成額は、接種費用の1／2（上限5,000円）。

助成人数　10人（うち 夫２人）

５．風しん追加対策（風しん第５期）事業（定期接種Ａ類）

昭和37年４月２日から昭和54年４月１日生まれの男性に対し、風しん抗体検査を受けていただき、抗体価が低いと判定された方への予防接種事業を実施しました。本事業は令和元年度から令和７年３月31日までの期間で実施してきましたが、ワクチン不足により接種機会を逃した方を対象に、接種期限を令和９年３月31日まで延長する措置を講じています。なお、今年度の実績はありませんでした。

６．特別な理由による任意予防接種費用助成事業

骨髄移植手術等を受けたことによって、定期予防接種ワクチンの免疫を失った方が、任意で再接種を受ける費用の一部を助成する事業を実施しました。なお、今年度の実績はありませんでした。

７．任意予防接種費用助成事業（おたふくかぜ・帯状疱疹ワクチン）

任意予防接種のうち、おたふくかぜ及び帯状疱疹ワクチンの接種費用の一部助成（償還払い）を実施しました。接種に係る経済的負担を軽減することで、接種率を向上させ、疾病の発症、重症化及び感染症のまん延を防止することを目的としています。

ワクチン種類	対　象　者	①接種（助成）回数 ②助　成　金　額	助成件数(件)
おたふくかぜ	満１歳以上７歳未満の児（おたふくかぜにかかったことがある児を除く。）	①生ワクチン　１回 ②接種費用の２分の１以内で2,000円を限度とする。	242
帯 状 疱 疹	満50歳以上の方	①不活化ワクチン　２回 ②1回当たり接種費用の２分の１以内で10,000円を限度とする。	266

８．予防接種健康被害救済制度

予防接種健康被害救済制度に係る申請があったため、６名の委員を委嘱し、扶桑町予防接種健康被害調査委員会を１回開催しました。

目	予算現額	決算額	執行率
３．健康推進費	円 23,368,000	円 20,766,602	% 88.9

【健康推進課】

［１］健康増進事業費

１．健康診査

（１）がん検診

死亡原因の第１位であるがんの対策として、集団検診・個別検診（医療機関委託）を実施し、早期発見・早期治療の推進に努めました。

また、新たなステージに入ったがん検診（無料クーポン券配布事業）において、子宮頸がん及び乳がん検診の対象年齢に 30 歳を追加し、女性がん検診の受診率向上を図りました。なお、乳がん検診では、30 歳の方はエコー検査、40 歳の方はマンモグラフィ検査を実施しました。

区分		実施回数（回）	実施期間	受診者数（人）
集団	胃がん	8		280
	肺がん（Ｘ線）	8		368
	肺がん（喀痰）	8		30
	大腸がん	9		520
	子宮頸がん	10		297
	乳がん（マンモグラフィ）	10		339
	前立腺がん	4		258
個別	胃がん		Ｒ7年7月 ～ Ｒ8年1月 ※クーポン券受診者のみ、 Ｒ7年7月 ～ Ｒ8年2月	199
	肺がん			151
	大腸がん			172
	子宮頸がん			121
	乳がん（マンモグラフィ）			108
	乳がん（エコー）			34

＊新たなステージに入ったがん検診受診者数を含む。

●めざそう値

施策	健康づくり			
指標名	指標の定義	後期計画策定時	Ｒ７実績値	Ｒ９目標値
がん検診受診率	がん検診（胃・大腸・子宮頸・乳・肺・前立腺）の受診率の平均値（%）	10.7	11.1	13.0

＊乳がんは 40 歳以上の対象者及び受診者を受診率に含むため、乳がん（エコー）の対象者及び受診者は含まない。

（２）一般健康診査

平成 20 年度からの特定健康診査の開始に伴い、生活保護受給等により、いずれの医療保険制度の適用も受けない方に対し、一般健康診査を実施し、生活習慣病の予防及び早期発見に努めました。

受診者数　５人

（３）肝炎ウイルス検診

40 歳の方及び過去に肝炎ウイルス検診を受けたことがない方に、肝炎ウイルス検診を実施し、Ｂ型・Ｃ型肝炎の早期発見に努めました。

受診者数　73 人

（４）胸部レントゲン撮影

20 歳以上の方を対象に胸部レントゲン検診（胸部Ｘ線検査）を行い、結核及び肺がんの早期発見に努めました。

受診者数　69 人

（５）さわやか健診

20 歳から 39 歳までの方に健診を実施し、若年期からの健康への関心を高め、生活習慣病の予防及び早期発見に努めました。

受診者数　40 人

（６）骨検診

20 歳以上の方を対象に、超音波による骨密度検診を実施し、骨粗鬆症の早期発見に努めました。

受診者数　102 人

（７）成人・糖尿病・後期高齢者歯科健康診査

節目年齢の成人（20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70 歳）、糖尿病（特定健診受診者のうち HbA1c5.6％以上）の方及び後期高齢者を対象に無料クーポン券を送付し、歯科健診を実施することにより、歯周病を中心とする口腔内疾患の予防と早期発見に努めました。

受診者数　成人　　445 人
　　糖尿病　　117 人
　　後期高齢者　193 人

（８）障害者通所施設歯科健康診査

町内の障害者通所施設を利用する住民を対象に、歯科健診を実施し、歯周病を中心とする口腔内疾患の予防と早期発見に努めました。

受診者数　11 人

２．健康教育

健康に関する正しい知識の普及啓発を図り、住民の健康保持・増進に努めました。特に本町では、糖尿病・脂質異常症による内服者が、愛知県平均と比較して特に高い傾向にあるため、運動・栄養の視点からアプローチを行う『血液さらさら教室（全６回１クール）』を実施しました。動脈硬化の予防に加え、糖尿病と歯周病の相互悪化を予防することを目的としています。

名　　称	実　施　内　容	実施回数(回)	延べ参加者数(人)
ポールで骨コツ歩こう教室	ポールウォーキングの実践、骨粗鬆症についての講話	1	16
血液さらさら教室	高血圧・糖尿病・脂質異常について、予防のための栄養、生活習慣の見直し、オーラルフレイルチェックと改善、運動の効果、運動の種類と実技	6	55
おひさま家族教室	子育て世代を対象とした、ヨガマットを使った運動と休息の講話、食習慣から家族の健康を考える講話、保護者同士の交流会	2	6
出　前　講　座	フレイル予防等の健康教育、ふそう健康マイレージ事業紹介等	4	66

＊会場　各種教室：保健センター・総合体育館・児童センター「ひまわり」等
　　出前講座：各地区公民館、学習等供用施設等

３．健康相談

町内各所において、心身の健康に関する個別相談を実施し、専門的な観点から必要な指導及び助言を行いました。

（１）　重点健康相談

事　　業　　名	実施回数(回)	延べ参加者数(人)
口腔衛生（歯周疾患健康）相談	3	19
成　人　栄　養　相　談	1	2
血液さらさら教室　事後栄養相談	1	3

（２）　総合健康相談

事　　業　　名	実施回数(回)	延べ参加者数(人)
みんなの健康相談室	11	71
健康相談（総合福祉センター）	6	62
がん検診時健康相談	14	265
ほっとでんわ（電話健康相談）	随時	142
面　接　健　康　相　談	随時	127
さわやか健診　事後健康相談	随時	0
出　前　講　座	4	25
女　性　の　健　康　週　間	1	15

＊出前講座の会場は、サングリーンハウス、各地区公民館、学習等供用施設等。

＊「女性の健康週間」中に実施した乳がんの集団検診時に、自己検診法の指導を行いました。併せて、ブレストセルフチェッカーとリーフレットを配布し、早期発見に向けた自己検診の普及啓発に努めました。

４．家庭訪問（成人）

心身の状況に応じ、健康の保持増進と療養の指導が必要な 39 人の方に、家庭訪問による個別保健指導を行いました。

訪問回数（延べ）　45 回

５．健康づくり推進協議会

住民の健康保持・増進、疾病予防等を積極的に推進するために、各分野の代表者を構成員とする健康づくりに関する協議会を年２回開催しました。

６．新型インフルエンザ等対策

新型インフルエンザ等対策特別措置法第８条に基づき策定した「扶桑町新型インフルエンザ等対策行動計画」に関連する対策訓練について、今年度の実施はありませんでした。

７．一般社団法人犬山扶桑歯科医師会との共催事業

（１）「歯と口の健康センター」の開催

春と秋に、歯科健診・細菌チェック・虫歯リスク検査・フッ化物塗布等を無料で実施し、虫歯予防や口腔衛生の普及啓発に努めました。

実　施　日	受診者数（成人）	受診者数（小児）	合　　計
６月　８日	101 人	76 人	177 人
11 月 16 日	109 人	69 人	178 人

（２）8020 歯の健康表彰

80 歳で 20 本以上の歯を有する方を対象に、かかりつけ歯科医を通じて表彰を行うとともに、記念品の贈呈を行いました。

表彰者数　60 人

８．ふそう健康マイレージ事業

住民が主体的に生活習慣の改善に取り組み、継続的な健康づくりを推進するきっかけとして、『ふそう健康マイレージ事業』を実施しました。健康マイレージ連携アプリ『あいち健康プラス』を導入し、若年層や働く世代を含む幅広い世代が参加しやすい環境を整えました。

また、食事や運動などの生活習慣改善に向けた取り組みをした方に、愛知県内の協力店で各種優待を受けられる特典カード（MyCa（まいか））を発行し、自主的な健康管理の促進を図りました。

優待カード発行枚数　95 枚　（ちゃれんじシート 48 枚、アプリ 47 枚）

９．ラジオ体操放送

本町では、血圧や血糖値が高い傾向にあることが健康課題となっているため、運動を習慣づけることを目的に、毎日午後１時 30 分から広報無線でラジオ体操の放送を実施しました。また、体操開始前には保健師が「季節に合った健康の話題」と「ラジオ体操 13 項目のコツや効果」について情報提供を行いました。（２週間ごとに内容を更新）

10．がん患者アピアランスケア用品購入費補助金交付事業

がんの治療に伴う脱毛や乳房切除等の外見上の変化による心理的負担を抱える方が、前向きに自分らしく社会生活を送ることができるよう、医療用ウィッグ（14件）及び乳房補整具（１件）の購入費の一部を助成する事業を行いました。

補助件数　15 件

目	予算現額	決算額	執行率
４．環境衛生費	円 32,801,000	円 24,914,527	% 76.0

【環境課】

［１］地球環境保護促進事業費

１．環境審議会（第１回：７月 17 日、第２回：２月６日に実施）

第２次扶桑町環境基本計画の基本目標に対する取組や実施状況について協議し、評価しました。

２．環境展の実施

廃品再利用コンテスト作品展　５点

10 月 18 日～10 月 24 日　扶桑町図書館

３．環境美化活動

５月 25 日の「クリーンふそう 530 デー」を中心とした５月 18 日～６月１日までの環境美化 530 運動期間において、延べ 4,252 人の参加者が道路、公園、空き地等のごみや雑草の除去作業を行いました。

また、９月には老人クラブ会員を中心に延べ 658 人の参加者が美化活動を行いました。

４．アダプトプログラム（里親制度）

町民が里親となり、公共施設の美化及び清掃に努めました。

●めざそう値

施策	環境保全・循環型社会			
指標名	指標の定義	後期計画策定時	Ｒ７実績値	Ｒ９目標値
アダプトプログラム参加団体	協働によるアダプトプログラムに参加した団体数（団体）	29	26	30

５．環境教育事業

（１）親子で学ぼう！扶桑の自然

ミニビオトープの制作や身近な生物の観察を通じて、環境保護意識の向上をめざすため、教育部生涯学習課とともに、前期と後期に環境学習講座を実施しました。

前期は、７月 12 日、７月 19 日、８月２日、８月９日の全４回、親子 12 組の参加により実施しました。

後期は、12 月 13 日、12 月 14 日、１月 25 日、２月１日の全４回、親子 16 組の参加により実施しました。

前期の生涯学習講座「親子で学ぼう！扶桑の自然」

日　程		場　所	内　容
Ａ日程	第１回 ７月 12 日	扶桑町中央公民館	扶桑町に生息する昆虫を観察して、その生態を知ろう！～蝶編～
	第２回 ７月 19 日	扶桑町中央公民館	身近にすむ昆虫の標本をつくって、その生態を知ろう！～標本づくりを体験～
Ｂ日程	第１回 ８月２日	扶桑町中央公民館	扶桑町に生息する昆虫を観察して、その生態を知ろう！～肉食昆虫編～
	第２回 ８月９日	扶桑町中央公民館	扶桑町に生息する昆虫を観察して、その生態を知ろう！～バッタ編～

後期の生涯学習講座「親子で学ぼう！扶桑の自然」

日　程		場　所	内　容
Ａ日程	第１回 12 月 13 日	扶桑町中央公民館	扶桑町に生息する魚を観察して、その生態を知ろう！
	第２回 12 月 14 日	扶桑町中央公民館	淡水のエビやカニと触れ合って、その生態を知ろう！
Ｂ日程	第１回 １月 25 日	扶桑町中央公民館	外来種の生き物を観察して、その生態を知ろう！
	第２回 ２月１日	扶桑町中央公民館	昆虫の王様カブト・クワガタたちの幼虫を観察して、その生態・捕り方を知ろう！

（２）緑のカーテン事業

町内７保育園、扶桑東放課後児童クラブ館、山名放課後児童クラブ館、柏森放課後児童クラブ館、高雄放課後児童クラブ館、高雄小学校、柏森小学校、山名小学校、中央公民館、図書館、福祉センター及び保健センターにて、ゴーヤ栽培による緑のカーテンを設置しました。また、５月 10 日に扶桑町役場駐車場にて、ゴーヤ苗 300 本を一般配布しました。

６．ごみ減量に向けての住民参加の取り組み

フリーマーケットＩＮふそう会

５月 11 日にフリーマーケットを扶桑町役場駐車場で開催しました。

7．住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金

住宅で行う再生可能エネルギーの利用を促進し、温室効果ガス排出の抑制を通じて地球温暖化防止に寄与することを目的に、住宅用地球温暖化対策設備を設置する方に対して補助をしました。

（単位：件、円）

年度	R５		R６		R７	
家庭用エネルギー管理システム	9	90,000	19	188,200	17	168,300
定置用リチウムイオン蓄電システム	35	3,500,000	38	5,700,000	31	4,650,000
家庭用燃料電池システム	6	600,000	2	200,000	5	500,000
電気自動車等充給電設備	0	0	0	0	1	50,000
一体型設置（蓄電池）	12	1,920,700	18	3,765,700	20	4,224,400
一体型設置（ZEH）	6	976,800	4	651,200	1	162,800
一体型設置（充給電設備）	0	0	0	0	0	0
計	68	7,087,500	81	10,505,100	75	9,755,500

8．環境管理

扶桑町環境管理の行動計画「ふそうエコプラン」を平成13年度に策定し、以降継続して役場庁舎始め28の施設でゴミ減量、省エネ等環境にやさしい取り組みを実施しました。

（1）廃棄物の減量とリサイクルの推進

項　　目	R６	R７	対前年度増減率
可　燃　ご　み	17,877.57 kg	18,485.00 kg	3.4%
資　源　ご　み	5,563.10 kg	6,081.74 kg	9.3%

（２） 省エネルギーの推進

項　　目	Ｒ６	Ｒ７	対前年度 増減率
電　　気	2,074,600kWh	2,066,016kWh	△0.4%
水　　道	29,839 ㎥	29,096 ㎥	△2.5%
重　　油	14,754 ﾘｯﾄﾙ	14,586 ﾘｯﾄﾙ	△1.1%
灯　　油	152 ﾘｯﾄﾙ	204 ﾘｯﾄﾙ	34.2%
Ｌ　Ｐ　ガ　ス	31,626 ㎥	30,341 ㎥	△4.1%
ガ　ソ　リ　ン	8,439.73 ﾘｯﾄﾙ	7,594.80 ﾘｯﾄﾙ	△10.0%
軽　　油	3,210.78 ﾘｯﾄﾙ	2,877.85 ﾘｯﾄﾙ	△10.4%

（３） 省資源の推進

項　　目	Ｒ６	Ｒ７	対前年度 増減率
用　　紙	2,643,099 枚	2,769,608 枚	4.8%

（内訳）

Ａ４	2,554,511 枚	2,687,004 枚	5.2%
Ａ３	78,875 枚	71,284 枚	△9.6%
Ｂ５	1,241 枚	7,270 枚	485.8%
Ｂ４	8,472 枚	4,050 枚	△52.2%

［２］環境保全対策事業費

１．公害苦情等の発生状況

公害監視とともに環境問題全般の改善・確認を行いました。

公害苦情発生状況の推移　（単位：件）

年度	騒音	振動	悪臭	水質汚濁	雑草	その他	計
Ｒ５	6	0	5	1	34	26	72
Ｒ６	1	0	1	0	28	13	43
Ｒ７	1	0	6	0	46	16	69

２．河川等の環境調査

河川等の生活環境を保全するため、次のとおり各種調査を実施しました。

（１） 河川水質調査

生活環境に係る環境基準の４項目（ｐＨ、生物化学的酸素要求量、浮遊物質量、溶存酸素量）及び化学的酸素要求量、大腸菌数、ヘキサン抽出物質、陰イオン界面活性剤、カドミウム、銅、六価クロム、全窒素、全リンについて、14 地点で年２回実施しました。

３．犬の登録・狂犬病予防注射

関係団体の協力のもと、実施しました。　（単位：件）

年　度		Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７
新　規　登　録		100	111	108
注射済票交付数	集合	67	83	70
	その他	1,494	1,466	1,479
	計	1,561	1,549	1,549
年　度　末　登　録　数		2,132	2,164	2,212

４．猫の去勢避妊手術費補助金　（単位：匹・円）

年度		Ｒ５		Ｒ６		Ｒ７	
野良猫	雄	7	42,000	7	42,000	6	36,000
	雌	7	70,000	12	120,000	8	80,000
	小計	14	112,000	19	162,000	14	116,000
飼い猫	雄	45	67,500	46	69,000	43	64,500
	雌	39	97,500	31	77,500	36	90,000
	小計	84	165,000	77	146,500	79	154,500
合計		98	277,000	96	308,500	93	270,500

［３］合併処理浄化槽設置整備事業費

下水道予定処理区域を除いた地域の一般家庭で、汲み取りや単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ切り換えた場合に補助金を交付する事業で、平成 16 年度から開始し、今年度は 38 基計 10,176,000 円を助成しました。

年　度	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７
助成基数	54	42	38
助成金額（円）	14,728,000	11,384,000	10,176,000

●めざそう値

施　策	環境保全・循環型社会			
指標名	指標の定義	後期計画策定時	Ｒ７実績値	Ｒ９目標値
合併処理浄化槽設置数	合併処理浄化槽の設置基数（基）	267	442	450

４款　衛生費　　２項　清掃費

目	予算現額	決算額	執行率
	円	円	%
１．ごみ処理費	579,094,866	577,032,557	99.6

【環境課】

［１］［９］ごみ集積所運営費　　［２］粗大ごみ収集処理事業費

［３］［10］不燃性ごみ収集処理事業費　　［４］可燃性ごみ収集処理事業費

［５］資源ごみ収集処理事業費

１．ごみ処理事業

（１）　一般廃棄物の処理体制

区分	種類	収集方法	有料・無料	処理先
一般廃棄物（家庭系）	可燃性ごみ	委託業者収集（週２回）	無料	江南丹羽環境管理組合
	可燃性ごみ	自己搬入	有料	江南丹羽環境管理組合
	埋立ごみ（不燃性ごみ）	委託業者収集（月１回）	無料	廃棄物埋立処理業者
	資源ごみ	委託業者収集（月１回）	無料	資源ごみ中間処理業者
	プラスチック	委託業者収集（月１回）※注１	無料	江南丹羽環境管理組合 資源ごみ中間処理業者
	小型ごみ	委託業者収集（月１回）	無料	江南丹羽環境管理組合 家電ごみ中間処理業者 資源ごみ中間処理業者
	粗大ごみ	戸別収集	有料	江南丹羽環境管理組合 家電ごみ中間処理業者 資源ごみ中間処理業者
	有害ごみ（蛍光管・乾電池）	委託業者収集（月１回）	無料	水銀廃棄物処理業者 一般廃棄物処理業者
	廃食用油	委託業者収集（月１回）	無料	廃食用油再生処理業者
一般廃棄物（事業系）	可燃性ごみ	直接搬入 許可業者搬入	有料	江南丹羽環境管理組合

※注１　プラスチック製容器包装・廃プラスチックは月２回収集

（２）町収集分ごみ推移表　　（単位：ｔ）

区分＼年度		Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７
1	可燃性ごみ	5,177.47	5061.70	5,041.09
2	＊廃プラ	256.78	257.00	240.34
	＊PETボトル等	32.81	32.46	32.17
	＊容リプラ	129.10	126.43	128.26
	＊アルミカン	12.81	12.43	12.27
	＊スチールカン	20.15	19.51	18.73
	＊鉄類	28.75	28.75	26.34
	＊紙類	178.13	178.97	164.44
	＊古着	18.67	18.13	16.15
	＊びん	124.65	113.16	106.30
	分別小計	801.85	786.84	745.00
3	粗大・小型可燃	143.22	138.14	193.29
	＊粗大・小型金属	3.13	2.90	2.79
	粗大・小型家電	28.72	29.35	31.53
	粗大・小型小計	175.07	170.39	227.61
4	埋立ごみ町外搬出分	78.81	66.76	60.25
5	＊剪定枝	108.65	52.99	83.83
合計		6,341.85	6138.68	6157.78
対前年伸率		97.8%	96.8%	100.3%
＊印合計（リサイクル率）		913.63 (14.4%)	842.73 (13.7%)	831.62 (13.5%)
廃食用油（ℓ）		3,215	3,053	3,306
組成比率	ひまわり号収集可燃性ごみ	5,177.47 81.6%	5,061.70 82.4%	5,041.09 81.9%
	分別ごみ	801.85 12.6%	786.84 12.8%	745.00 12.1%
	粗大・小型ごみ	175.07 2.8%	170.39 2.8%	227.61 3.7%
	埋立ごみ	78.81 1.2%	66.76 1.1%	60.25 1.0%
	剪定枝	108.65 1.7%	52.99 0.9%	83.83 1.4%
排出量（ｇ／人／日）		495	480	484
ごみ処理費（円／人）		12,914	14,226	16,557

(参考)

年平均人口（人）	35,025	35,037	34,851
年間ごみ処理費（千円）	452,306	498,446	577,033

「＊」は資源ごみ

※割合は小数点以下第２位を四捨五入しているため合計が 100%とならない年があります。

２．資源ごみ回収拠点利用者数

仕事などで指定日に資源ごみを出せない人のため、小淵字底ミ地内の資源ごみ回収拠点で回収しました。

開所時間　月曜日～金曜日　午前９時から正午

土曜日　午前９時から午後３時（正午から午後１時までを除く）

（単位：人）

年度	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７
利用者数	27,488	27,291	26,400

３．剪定枝チップ化事業

ＣＯ２削減と資源循環を図るため、毎週月曜日～金曜日の午前中に小淵字底ミ地内の資源ごみ回収拠点にて剪定枝を無料回収し、回収した剪定枝をチップ化後に堆肥化する事業を実施しました。

（単位：人）

年度	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７
利用者数	1,517	1,568	1,681

●めざそう値

施　策	環境保全・循環型社会			
指　標　名	指　標　の　定　義	後期計画策定時	Ｒ７実績値	Ｒ９目標値
一人１日あたりの家庭系ごみ排出量（資源ごみを除く）	ごみ処理基本計画のごみ排出量目標値（ｇ）	440	420	↘

［６］負担金補助及び交付金

１．資源ごみ売上金交付事業

各地区集積所を通じて町が収集した資源ごみ（スチール缶・アルミ缶・鉄類・紙類・古着・びん）の売上金の全額を、地区に交付しました。

（単位：円）

年度	資源ごみ売上交付金
Ｒ５	2,476,584
Ｒ６	2,894,878
Ｒ７	3,021,377

２．生ごみ処理機等購入補助事業

家庭から排出される生ごみを再利用することを目的とし、生ごみ堆肥化容器（コンポスト・生ごみ処理容器）や生ごみ処理機を購入した場合、購入金額の一部を助成しました。

コンポスト・生ごみ処理容器　1／2　上限 4,000 円／基　１世帯各２基まで

生ごみ処理機　1／2　上限 23,000 円／基　１世帯各１基まで

区分／年度	助成基数（基）		助成金額（円）
	生ごみ堆肥化容器	生ごみ処理機	
R5	9	2	70,800
R6	10	9	226,300
R7	6	7	178,100

３．資源ごみ集団回収事業奨励交付金事業

集団回収事業を活性化し、ごみ減量及びリサイクルの推進を目的とする補助金です。

ＰＴＡや子ども会などの営利を目的としない団体が、集団回収事業を実施した際の売上金額が基準に達しない場合、その差額を補助しました。

年度／区分	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７
新　聞　紙 （基準 5 円/kg）	64,580kg 0 円	53,590kg 0 円	38,425kg 0 円
雑　　誌 （基準 5 円/kg）	76,392kg 76,109 円	70,090kg 67,805 円	47,900kg 50,620 円
アルミカン （基準 40 円/kg）	1,294kg 0 円	1,050kg 0 円	1,259kg 0 円
ダンボール （基準 5 円/kg）	28,062kg 0 円	23,265kg 0 円	18,465kg 0 円
ウ　エ　ス （基準 5 円/kg）	13,530kg 25,630 円	10,955kg 19,480 円	6,263kg 11,776 円
合　　計	183,858kg 101,739 円	158,950kg 87,285 円	112,312kg 62,396 円

＊雑紙含む

［７］江南丹羽環境管理組合負担金

組合運営のため、事業運営費等合計 230,811,376 円の負担金を支出しました。

［８］尾張北部環境組合負担金

組合運営のため、ごみ処理施設建設費等合計 146,836,556 円の負担金を支出しました。

目	予算現額	決算額	執行率
	円	円	%
2．し尿処理費	150,775,312	147,375,911	97.7

【環境課】

［1］し尿収集運搬事業費

1．し尿等処理体制

区分	種類	収集方法	有料・無料	処理先
一般廃棄物	し尿	委託業者収集 定期：月１－２回 臨時：随時	有料	愛北広域事務組合
	浄化槽汚泥	浄化槽清掃許可業者	有料	愛北広域事務組合

2．し尿等処理の実績　（単位：kl）

区分＼年度	R５	R６	R７
し尿	717.65	594.61	612.99
浄化槽汚泥	14,537.44	14,707.28	14,864.02

［2］愛北広域事務組合負担金

組合運営のため、火葬場事業・し尿処理場運営費等合計111,863,060円の負担金を支出しました。

５款　労働費　　１項　労働諸費

目	予算現額	決算額	執行率
	円	円	%
１．労働諸費	967,000	329,641	34.1

【都市政策課】

［１］・［２］労政一般事務費

１．就職フェアの実施

求職者の就職機会拡大と、地元の中小企業の人材確保を図るため、扶桑町・大口町による合同企業説明会を対面形式にて実施しました。

（１）実施日　　３月 19 日(木)　14:00～17:00(第一部)、18:00～20:00(第二部)

（２）内　容　　合同企業説明会、職業適性検査、個人相談

（３）参加者　　(第一部) 企業 23 社（内、町内８社)、求職者　37 人

(第二部) 企業 14 社（内、町内６社)、求職者　６人

２．中小企業人材確保振興補助金

地域経済の健全な発展に資することを目的に、中小企業者に対し、就職説明会やインターネット求人サイト利用費用の一部として、５件238,000円を補助しました。